

**【事務事業調査】**

事務事業名	政策マネジメントシステム推進事業費			予算科目コード	会計-款-項-目-事業
					001-02-01-06-003-01-01-0
担当部署	総務企画部 総務課	担当	行政経営担当	事業の分類	既存事業
		サブリーダー	福田 光久		

**■事務事業の概要**

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	→	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	<p>◆地域経営計画の進捗状況を管理するために行政評価システムを運用するという手法は例年どおりですが、H21年度はそれに加え、後期計画策定に向けた準備作業に入ります。</p> <p>◆具体的には、H21年度時点での住民満足度、住民ニーズを把握するために、意識調査(アンケート)を実施し、後期計画策定に向けた基礎データとします。基本的には職員による手作業で実施しますが、アンケートの集計(エクセルによるグラフ作成)など、コストを削減できる部分は業務を委託します。</p>		<p>◆施策の成果を確認しながら次の展開を組み立てて行くことによって、地域経営計画の基本理念である「安心して暮らせる地域社会をつくる。」「持続的に成長できる仕組みをつくる。」が着実に具現化されていきます。</p> <p>◆上記の検証⇒立案というサイクルをルーチンにすることで、住民サービス向上意識、事務効率化意識など、職員のスキルアップが見込めます。</p>
実績	<p>①H20年度に引き続き、各調書を簡略化し、職員負担を軽減しつつ、後期計画に向けた協議や施策調整を行うよう促しました。</p> <p>②後期計画を策定するにあたり、各施策に対する満足度と優先度を調査する、住民意識調査をH21.10月に行いました。(無作為抽出:20歳以上の町民2,000人対象→回答数:920人:回答率46.0%)</p>		<p>①職員が調書を作成するにあたり、内部調書的な資料と捉えている感があるとともに、施策と事務事業をセットで考える意識やラインの意思統一の面で職員の意識改革がまだまだ必要という課題が残りました。</p> <p>②平成17年度の調査と同様に、今回も町に対する「愛着度」について伺い、その結果、「愛着を感じている」が54.5%と最も高く、8割以上の方が町に愛着があるとの回答が得られました。この結果は前回と比較して大きな変化はありませんが、「愛着を感じていない」人の割合が増加していることは課題とすべきです。特に年代別で見た場合、若年層での愛着度が低い結果となっております。今後、各施策に対する優先度や満足度の調査結果を詳細に分析し、後期計画策定に向け、本当に必要とされるものを見極め、行政として明確な方向性を示していく必要があります。</p>

**■活動指標**

指標	目標値	達成値	特記事項
地域経営計画96施策の指標達成率(H21年度実績)	85.0%	58.3%	施策評価調査の指標のうち、年毎の目標値に対して、「↑目標値以上の成果があった」と「→目標値どおりの成果があった」ものの率を足したものの。 H18年度実績: 54.2% (52/96施策)    H19年度実績: 65.6% (63/96施策) H20年度実績: 62.5% (60/96施策)    H21年度実績: 58.3% (56/96施策)

**■事業費(計画)**

細 節	金 額
1 委託料	1,473,000
2 消耗品費	12,000
3 通信運搬費	348,000
4	
5	
6	
7	
8	
	1,833,000

**■事業費(当初予算)**

細 節	金 額
1 委託料	1,473,000
2 消耗品費	12,000
3 通信運搬費	348,000
4	
5	
6	
7	
8	
	1,833,000

**■事業費(実績)**

細 節	金 額	特記事項
1 委託料	1,749,562	住民意識調査支援業務委託:1,400,000円 住民意識調査票集計に係る事務労働者派遣業務:349,562円
2 消耗品費	11,054	事務用品
3 通信運搬費	0	通信運搬費から委託料へ277,000円流用
4		
5		
6		
7		
8		
	1,760,616	

**■事業経費**

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		1,833,000	
	補正予算額		0	
	流用額		0	
	予算現額		1,833,000	
決 算	決算額		1,760,616	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計		0	0
	差引(一般財源)	1,833,000	1,760,616	